

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2016年3月号

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第572号

J・S・バッハ作曲、コラール前奏曲「おお人よ、汝の大きいなる罪を嘆け」BWV 622を弾きたいとパイプオルガンのレッスンを始め、神学校6年間続けました。今もレント(受難節)になるとその音楽に心を添わせませす。バッハが作曲したこのコラール前奏曲は、最終部分で半音ずつ音があがっていくフレーズがあります。それはイエスが衣を引きずりながら十字架への道を歩いている情景を表している。聞いて以来、その光景が受難節を導くものとなりました。

受難節は断食や沈黙など、何かを断つことによってキリストの苦しみを思い起こそうとする時期ですが、心に痛みを覚えた時、受難節の沈黙はありがたいものでした。

東日本大震災から5年を迎えます。2011年の受難節は、震災の大きな傷跡と共に、私にとつては幾重にも苦しみとつては幾重にも苦しみとつては幾重にも苦しみました。その前年に親しい友を天に送り、相次いで、教会の青年が思いもかけない形で天に召されました。心もからだも硬くなって、不条理に人の

いのちが失われていくことの痛みを感じていました。

受難節は、愛する者を喪つたことを説明して納得したり、片つけてしまうのではなく、悲しみは悲しみのまま、痛みは痛みのまま、自分の一部としてあることを沈黙の中で受け止めることができる時です。

イエスが衣をひきずって十字架へ歩む姿は、他でもない、私の固有の痛みが、苦しみがそこで覚えられている。神は私の苦しみを知っておられる。体をひきずっていくような思いの中に共にいてくださることのしるしと受け止められました。

キリストの受難を思い起こ

神は痛みの中に



財団評議員・関東運営委員

増田 琴

クリスチャンアカデミーでは従来から、生と死をテーマにしたプログラムが多く企画されてきましたが、昨今特に、「自死をめぐって 牧会者として」のセミナーなどが目にとまるようになりました。

キリスト教には、病者のための祈り、看取りの祈り、葬儀、そして受難節のような教会暦に基づく祈りと、グリーフワークの伝統と蓄積があります。日本の医療や福祉の分

野で、それらは用いられてきました。

この何年か、放送大学で「生と死に寄り添う」という面接授業を行っています。看護師、介護福祉士、身近な人を天に送った方々が熱心に参加しておられます。苦しみについて、死生観や葬儀、グリーフワークなどを学び、考える場を欲している人は決して少なくないのだと感じています。

「死を問うことは、生を問うこと」ですから、そのことから、生きる意味を問う言葉、いやしの言葉の求めとなっていくこともあるでしょう。

「ガン哲学外来」のような試みが各地で起こってきていますが、キリスト教の伝統や経験の集積が、地域で用いられる方が模索されても良いのではないかと考えています。

クリスチャンアカデミーの情報発信型のあり方を活かして、各地でどのような場が形成されているのかを紹介したり、つなぐような働きは、新たな奉仕のあり方のように思っています。

(日本基督教団経堂緑岡教会牧師)

関東活動センター

●2015年度「神学生交流プログラム」第7回

「今、旧約聖書の世界から考える」

講師：ICU名誉教授 並木 浩一さん

校長：日本基督教団神奈川教区巡回教師 関田 寛雄さん

2016年3月7日(月)～9日(水)

会場：聖公会ナザレ修女会エピファニー館

3月7～9日、吉祥寺の聖公会ナザレ修女会を会場に、第7回神学生交流プログラムが実施されました。今回は、

約聖書学の泰斗並木浩一先生（ICU名誉教授）をお招きしました。

並木先生の二回の講演は、圧巻とも言うべき内容で、一回目は、先生御自身の自伝的な歩みと旧約聖書学の学びについて周到なレジュメを用いた講演でした。これまで私

自身が断片的に学んで来た並木旧約聖書学を、先生御自身の思想的時系列で貫く刺激のかつ創造性豊かな内容で示した。文献学的な隘路に陥るのでもなく、また歴史主義的な立場性に偏るのでもなく、学園紛争時代の教員としての痛苦な経験の中から思想する並木旧約学への探求が率直に披瀝されました。それは、聞



者の実存を問う迫力のこと



も部分参加できたこととは感謝でした。

二日目の午後は、フィールド・トリップとして、神田のニコライ堂を一同で訪ね、神学校の教師でもある北原史門司祭から正教会の歴史や信仰理解についての懇切な解説を伺いしました。正教会から学ぶことは多く、私たちの狭い教派の中に閉じこもってはいえない視点を与えられました。

ではないかと期待しています。いつの時代も、若者たちは可能性を秘めているからです。

なお、このプログラムはすべて賛助者の献金によって運営されています。後に並木先生の講演全文を含む、詳細な報告書が出され、ご支援いただいた方々にも送られる予定です。ご賛助下さった方々に心から感謝しています。

(戒能 信生)

た講演でした。二回目の講演は、現在の日本の政治的社会的状況を踏まえて、旧約聖書の世界からの個の尊厳を基礎づけるメッセージと、集団主義を乗り越える醒めた視線への展望が語られました。様々な神学校から、教派や教団の枠組みを乗り越えて集まった神学生たちは、並木先生の講演に鼓舞されて、密度の濃い出会いと交流が夜遅くまで繰り広げられました。特に今回は、並木先生の特別な配慮もあって、これまで参加して来

なかつた東京神大学の学生 現在の日本の教会は、私の属する日本基督教団だけでなく、各教派とも、教勢の停滞、信徒の高齢化といった共通の課題を抱えて、閉塞感にとらわれ、自己防衛的な内向きの議論に陥っているように見えます。そのようなこの国のキリスト教会の現状に風穴を開け、未来への展望を切り開くための一つの方法として、この神学生交流プログラムは構想されました。すぐにその効果が表れるわけではありませんが、やがてこのような試みが一つの可能性を切り開くの



関西セミナーハウス活動センター

●2015年度 修学院フォーラム「福祉」第2回

「子どもたちに寄り添う
いじめ・虐待・非行の現場から」

社会福祉法人カリヨソ子ども
センター理事長・弁護士

坪井 節子さん

2015年11月14日(土)



東京から弁護士の坪井節子
さんを招いて、いじめや虐待
を受けた子どもたちに寄り
添って、聴き取ってこられた
ことを語っていただいた。

彼女は、クリスチャンホー
ムに育ったが、高校生の時キ
リスト教に反発し、神を否定
しようと思つて早稲田大学文
学部哲学科に進んだ。しかし、
たまたま司法試験に合格して
弁護士になり、いじめや虐待
を受けた子どもの訴えを聴く

ようになった。その中で、彼
らのあまりに深い苦悩に打ち
のめされ、自分なんか生きて
いても仕方がない、とうめく
子供の前で、語るべき言葉を
失ってしまった。ただ生きて

いて欲しい、一人ぼっちにだ
けはしない、という思いで寄
り添い続ける者とされた。誰
も自分の助けになつてくれな
い、との訴えの前で、神様は
あなたの側にいるよ、イエス
様は十字架にかかってあなた
の命を救おうとされている
よ、と語り、彼らのために真
剣に祈り、自らも神様によつ
て励ましを受ける者とされ
た。

そのうちに、虐待のために
今晩泊まる場所がないとい
うハイティーンの子どもたち
のためにシェルター(緊急避

難所)が欲しいと思うように
なり、多くの人の助けにより
2004年にカリヨソ子ども
センターが東京生まれ、そ
の後全国各地で同様の施設が
開設されるようになった。

彼女が子どもたちに伝えた
いと思つていききたことは、次
の三つである。

- (1)生まれてきてよかったね
- (2)ひとりぼっちじゃないんだ
よ。
- (3)あなたの人生は、あなたに

しか歩けない。あなたが歩
いていい。

私たちの社会の闇がどんな
に深いかを思い知らされると
共に、神様は良き方を起こし
て下さったと、しみじみ思わ
されたひと時であった。

今回も参加者が少なかつた
が、若い人が7人も参加し、
その中の4人は高校生であつ
た。しかも参加者が少なかつ
たおかげで、参加者がじつじ
つ話し合いを進め、考えを深
めることができたことは、幸
いであつた。

んほぐれていった。このほぐ
された場であることが、意見
を言いやすい雰囲気になら
ることを体感できた。

新聞記事やテレビ番組
ニュース映像を使つてワーク
ショップを進める時のファシ
リテーターとしてどんな聞き
方、話し方をすべきかについ
て学んだ。その中で、違う意
見が出てきた時は、その真意
を聞き出して、他の意見との
絡んでいる点を見つけてつな
げていく、意見が出なかつた
場合、「こういう観点からど
うですか」というように問い
を用意しておくことが必要で
あることが分かつた。

また、ワークショップの内
容については、話しやすい、
分かりやすい素材を用意する
必要性について学んだ。参加
者に共通体験があるものや参
加者にとって等距離にあるも
のを素材として取り上げると
意見を引き出しやすく、話し
合いも深まりやすいことを知
り、実践に生かしていきたい
と思つた。

●2015年度 開発教育セミナー 第6回
「ファシリテーターの聞き方、話し方、
向き合い方」

かながわ開発教育セ
ンター理事・事務局長 木下 理仁さん
2015年12月5日(土)〜6日(日)



ファシリテーターがどのよ
うな聞き方、話し方、姿勢を
心がければいいか、社会や身
近にある問題、参加者、自分
自身と向き合いながら体験的
に学んだ。

アイスブレイキング「3段
階の自己紹介」や「なわとび」
をすると場の雰囲気だんだ



プログラム案内

◆関東活動センター

■聖書講座 2016「新しい聖書の学び」

「いのちの糧の分かち合い」(全 9 回)

講師：山口里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：2016年4月～2017年1月(8月除く)第2火曜18:30～20:00 ①4月12日、②5月10日

会場：早稲田奉仕園スコットホール

参加費：1,200 円/学生 500 円

テキスト：『いのちの糧の分かち合い いま、教会の原点から学ぶ』新教出版社

共催：早稲田奉仕園

■2016 関東フォーラム 今日的課題 II

「古典で読む 20 世紀第三期」(全 4 回)

第 1 回「超国家主義の論理と心理」

ファシリテーター：武田利邦さん (農

村伝送神学校講師)

日時：2016年5月13日

18:30～20:30

会場：日本キリスト教会館 6 階

フォークトルーム

参加費：500 円/4 回 1,500 円

テキスト：丸山真男「超国家主義の論理と心理」(『丸山真男セレクション』平凡社ライブラリー)

■月釜 清心会

日時：2016年3月13日(日)

9:00～15:00 受付 (1、8

月を除く年 10 回)

於：関西セミナーハウス

年会費：5,000 円、臨時会費 1,000 円

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 小久保 正
本部事務局
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 6 F
TEL 03-3207-6198
E-mail:info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /
関西セミナーハウス活動センター
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス
TEL 075-711-2115
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com
関西セミナーハウス活動センター
TEL 075-711-2117
E-mail:office@academy-kansai.org

◆関西セミナーハウス活動センター

■2016年度修学院フォーラム「いのち」

第 1 回「いのちを見つめて～介護百人一首～」

講師：安森 敏隆さん(同志社女子大学名誉教授)

日時：2016年4月23日(土) 13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：一般2,300円、学生1,000円

第 2 回「花と音楽のコラボレーション～いのちをめぐるメッセージ」

講師：竹中 真さん(ピアニスト、作曲家)

日時：2016年5月21日(土) 13:30～15:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：一般2,300円、学生1,000円

お楽しみ「演奏者と語る会」

上記終了後16:00～17:30 お茶代500円

賛助会費・寄付金報告

2015 年 12 月 1 日～2016 年 1 月 31 日
(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費

森野 善右衛門 3,000
竹政 志郎 5,000
蔭山 淳 10,000
島田 治夫 2,500
椿 邦良 5,000
高橋 浩 5,000
千葉 拓司 5,000
松本 敏之 5,000
松岡 俊彦 5,000

寄付金 (クリスマス寄付金を含む)

郡山 千里 3,000
木岡 毅 3,000
藤 知佳 5,000
神保 信子 5,000
関田 寛雄 3,000
松原 悦子 2,000
石橋 光朗 3,000
藤谷 正一 2,000
小林 誠治 10,000
中井 博雅 10,000
椿 邦良 5,000
谷津 慎子 5,000
木下 庸子 10,000
飯田 庸子 2,000
上林 順一郎 10,000
市川三本松教会 3,000
鈴木 伶子 3,000
飯沼 和正 1,000

神学生交流プログラム寄付金

高徳 芳忠 5,000
長岡京教会 10,000
島田 治夫 2,000
戒能 信生 50,000
萩原 好子 10,000
千葉 拓司 10,000
斎藤 宏 5,000
恵泉女学園中高・宗教部 20,000
関田 寛雄 5,000
松本 敏之 5,000
鹿兒島加治屋町教会 10,000
上原 秀樹 3,000
柳下 明子 10,000
神保 正男 30,000
吉田 豊 3,000
島田 治夫 2,000
西南学院 50,000
関西学院大学神学部 30,000

◆関西セミナーハウス

寄付金

廣田 吉久 10,000
野嶋 和雄 10,000
株式会社ビーテック 30,000

武藤 高司 10,000
一般財団法人 日本ドリームボード財団 10,000
ワケンホールディングス株式会社 50,000
株式会社レックラヴィファクトリー 30,000
京都音楽教育の会 30,000
ジ・エアーズ 菅原直人 20,000
菊岡 克彦 10,000
土田商店 5,000
株式会社社祇園辻利 10,000
佐藤 優 100,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費

白方 誠彌 10,000
宇井 裕美 3,000
小山 稔 5,000
西岡 裕芳 5,000
山本 貴之 5,000
佐藤 優 10,000

寄付金 (クリスマス寄付金、エネルギー

プログラムなどへの寄付金を含む)
日本キリスト教会吉田教会 5,000
日本基督教団世光教会 50,000
千里山キリスト教会 30,000
福留 順子 5,000
神戸ドイツ語教会 20,000
松本 文江 10,000
岡野 彩子 5,000
小久保 正 10,000
木田 みな子 1,000,000
椿 邦良 10,000
川北 かおり 10,000
宮庄 哲夫 5,000
西川 和江 5,000
田中 義信 3,000
公益財団法人京都 YMCA 5,000
松尾 光雄 500
佐藤 友紀 5,000
網野 俊賢 5,000
椿本 博久 5,000
日本基督教団経堂緑岡教会 10,000
今井 奈都子 3,000
加藤 聡子 10,000
日野 多栄子 3,000
島田 恒 30,000
日本基督教団希望ヶ丘教会 5,000
谷村 禎一 3,000
在日大韓基督教 京都教会 10,000
小久保 正 79,600
山添 みどり 2,000
原田 博充 3,000
佐藤 眞弓 20,000
日本基督教団平安教会 3,000
日本基督教団天満教会 10,000
日本基督教団倉敷教会 5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。